

日本一汚い川からのまちづくり

こまがわ 近木川流域自然大学研究会 代表 橋本 夏次

1. 郷に入ったら郷に従え

- ・二度のワーストワン 二級河川 近木川
- ・昔のまんまのええ川やん 近木川は 子どもが気づいた近木川のいいところ

2. 遊びから学ぶ

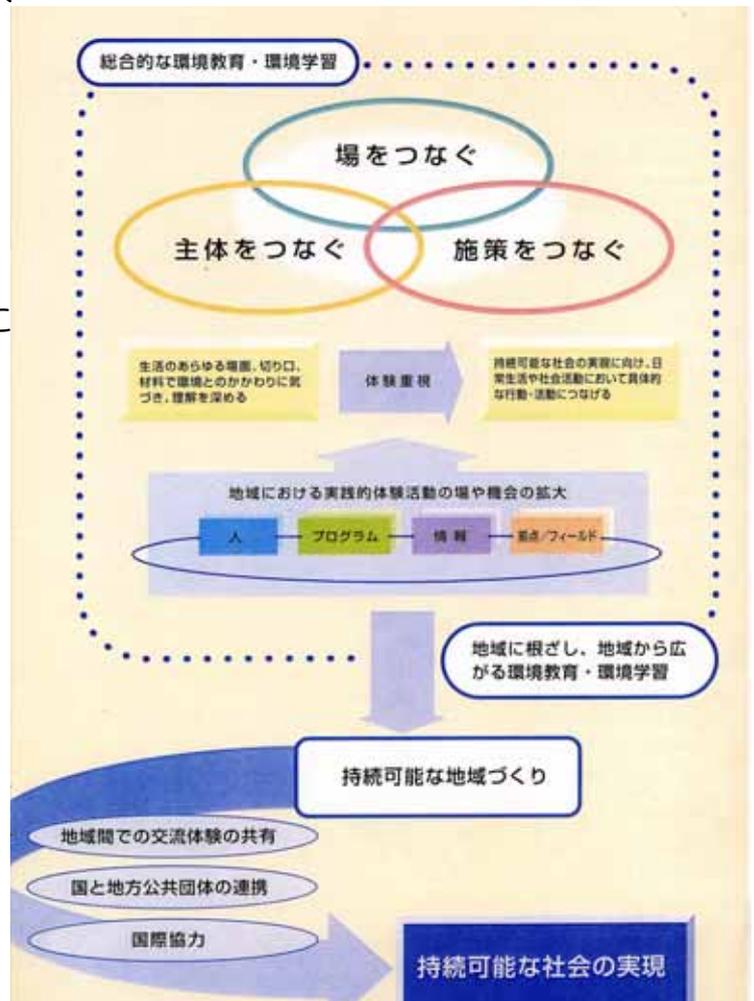
- ・子どもからの提案 遊べる近木川にしてください
- ・近木川流域自然大学 海→貝塚市立自然遊学館、山→ほの字の里川の分校づくり⇒子どもの参画で
- ・環境学習で育つ子どもたち
 少しぐらい汚のうても良い、生き物が一杯、自然が一杯
 人の心が優しいまち→事件がないから、生き物にも優しいから
- ・まちづくりは郷土愛から
 大人より 子らの感性 みちひろく

3. つなぎ役として

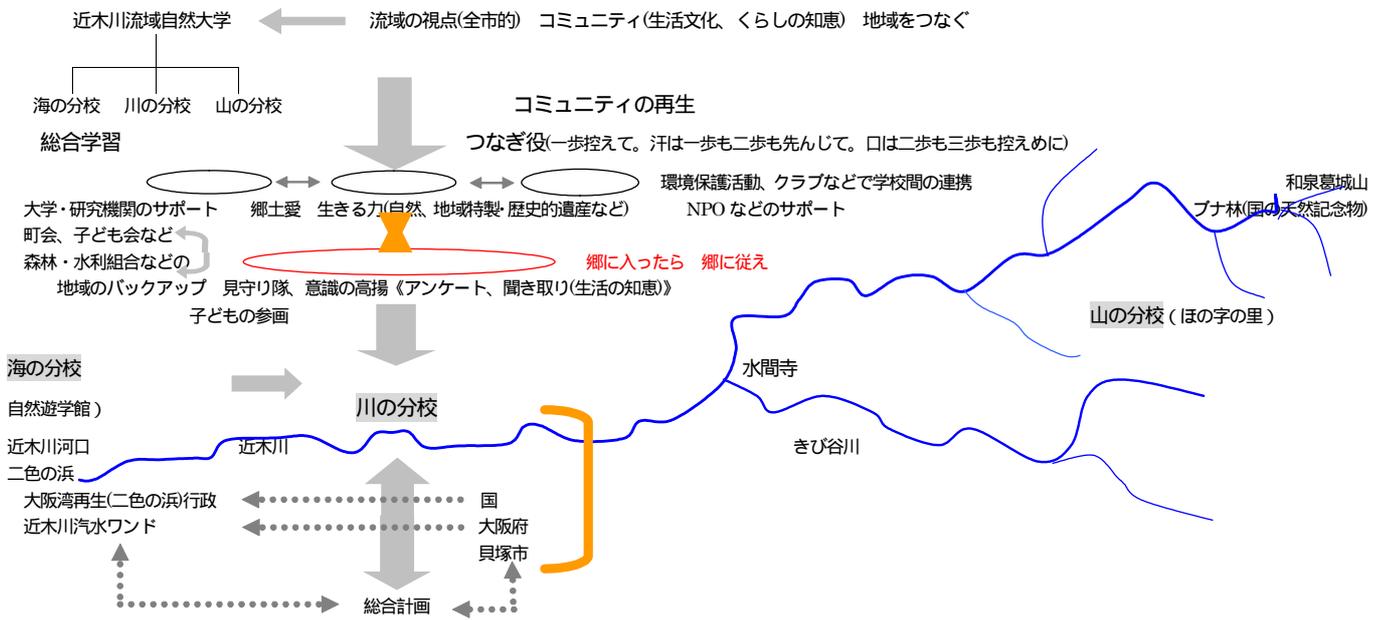
- ・目配り、気配り、心配り
 汗は一步も二歩も先んじてかけ、
 口は二歩も三歩も控えめに。
 川を見て 地域見てみて 人を見る
 BOD 21mg/l→7.8mg/lに
- ・知識を振りかざす人、
 自己主張の強い人

4. 水の浄化は心の浄化

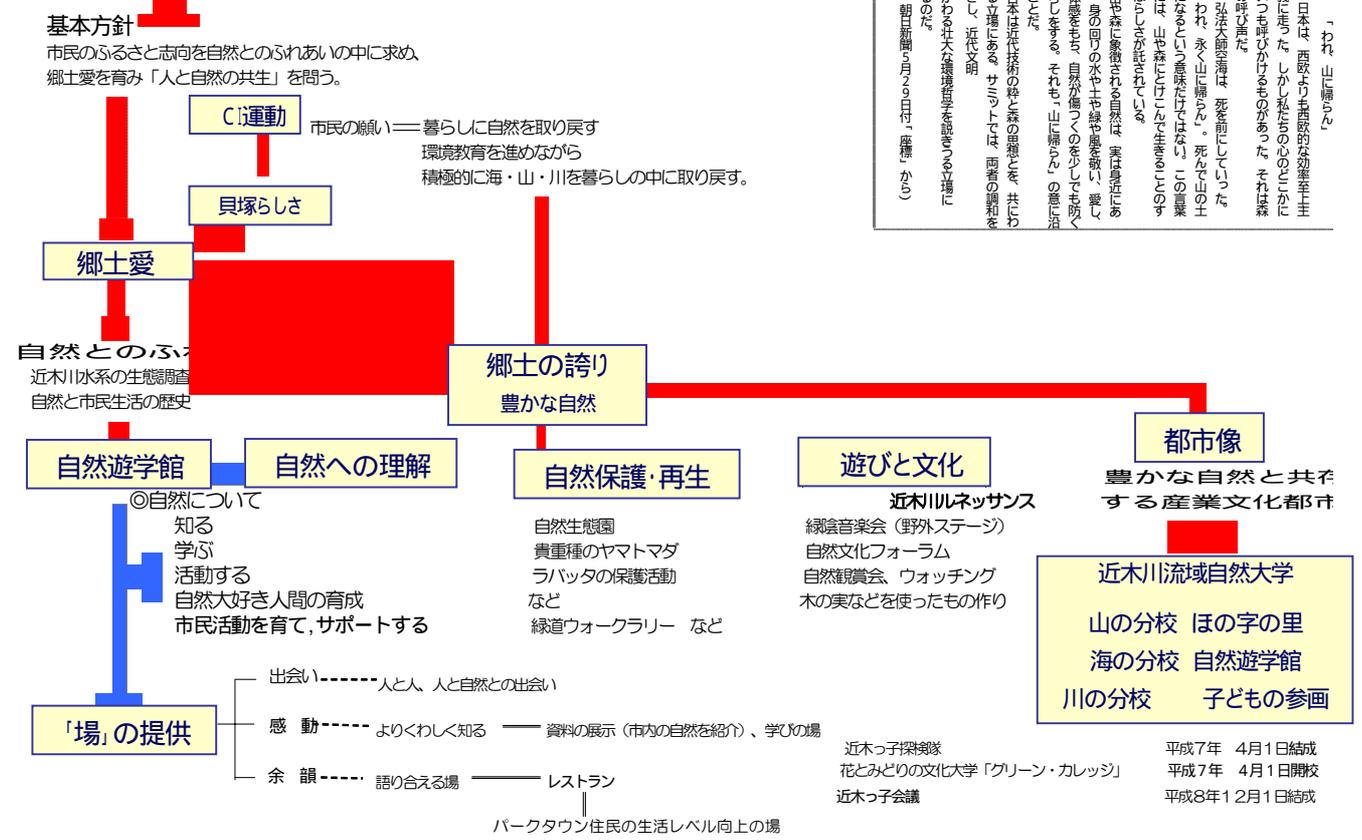
- ・暮らしからでた問題は、
 暮らしの中で解決を
 地域のことは 地域の人で
- ・自然再生事業→近木川汽水ワンド
 近木川流域自然大学
 大阪湾(二色の浜)
- ・わが道を
 川に生かされ
 つむぐ日々



ワーストワンからの出発 川の分校づくりからまちづくりへ



市民の森 自然遊学館 施策体系



日本一汚い川からまちづくり

近木川流域自然大学研究会代表 橋本夏次

1. 郷に入れば郷に従え
2. 遊びから学ぶ
3. つなぎ役として
4. 水の浄化は心の浄化



河川管理者が階段をつけた川の分校



高校生ボランティアによる川の下見



環境学習で生き物調査をする中央小6年のみなさん



近木川フォーラム発表原稿

(西側)

みなさん、こんにちは
私たちは、貝塚市立中央小学校の5年生です。

『近木川調べ』

中央小 5年 山中 優

近木川調べは、11月17日に行きました。そこで、すごくたくさん生き物を見つけることができました。

前にモクズガニを見つけたことを思い出しました。そこで「あそこでモクズガニをつかまよう。」と、向こう岸の方を指さしました。みんなが賛成したので、前につかまえた場所に行ってみると、前は陸続きだったところが、はばが2メートルぐらいある川になっていました。そこで、みんなで石を運んで橋をつくろうとしました。大きな石をみんなで運んで川に入れました。でも、川に流されてだめだったので、もうやけくそになって、全員はだして向こう岸に行きました。でも、モクズガニは、もういませんでした。この日は、とてもおもしろく勉強ができて、調べ学習をしている感じが良かったです。それに、調べたことを、学年のみんなの前で発表できてうれしかったです。

(山元)

ぼくたちは、今まで、あまり近木川で遊んだことがないですが、もし近木川で遊ぶことができるんだしたら、どんないろいろな遊びをしてみたいと思います。魚をとったり、カニやカメをとったり、鳥を見てみたいです。

でも、今はそれができません。フォーラムに集まっているみなさんの力で、ぼくたちが遊べる近木川をつくってください。ぼくたちががんばります。よろしくお願いします。
これで、わたしたちの発表を終わります。



近木川流域自然大学

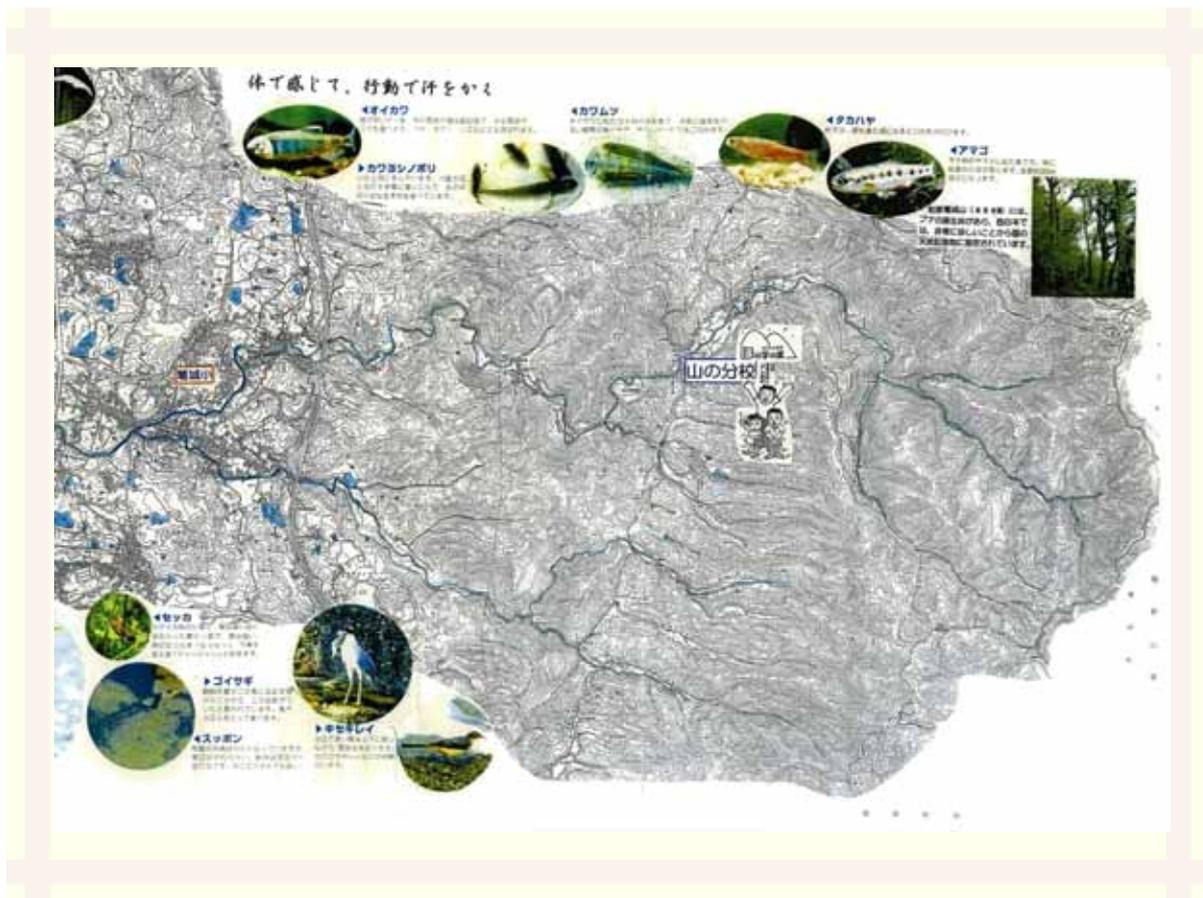
海の分校 川の分校 山の分校
市立自然遊学館 緑の字の家

大分県1000の国体に近木川が選ばれた

流域全体が「学び・遊びの場」

水のつながり、人のつながり







かわっぼ Go! Go!



新田さんから聞き取り



からうす実演



携帯用からうす

いい川

自然がいっぱいあって、
汚くても、きれいでも、
生物がすめる川
汚くても楽しく遊べる川

いいまち

人の心が穏やかなまち
みんなが幸せに住めて、都会でも都会過ぎない、
田舎でもいなか過ぎない、自然がいっぱいで、
みんながいかされるまち



特にびっくりしたのが、紀貫之が貝塚に来たということでした。今私たちが国語の授業でやっている歴史上の人物が貝塚に来たことは、とても誇りに思いました。

最後に見せていただいた数々の写真は、とても感動しました。その中でも一番感動したのは、貝塚の四季でした。貝塚は小さな市かもしれないけれど、他の市や県に負けていないのではないかと思います。



この泊りの浜にはくさぐさの
うるわしき貝石などおおかり
かかれば只昔の人をのみ恋ひ
つつ船なる人のよめる

よする浪
うちも寄せなん
吾恋ふる
人わすれ貝
おりて拾わん

といへれば、ある人のたへず
して、船の心やりによめる

忘れ貝
拾ひしもせじ
しら玉を
恋ふるをだにも
形見と思わん

春

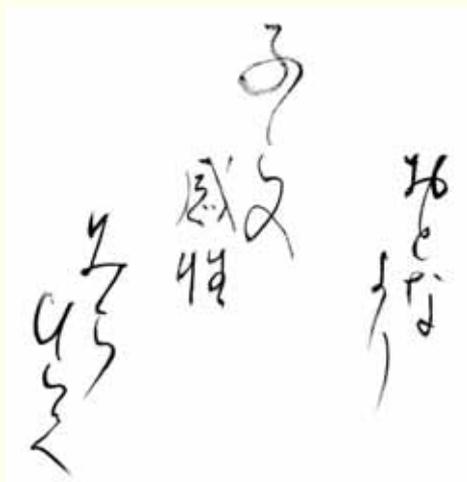


夏



秋

冬



**結果が出て、感謝するのは後々の世代です。
人生を環境のために、未来のためにというの
は、とても、すごい見本です。**